

巣穴展示式獣舎によるプレリードッグの飼育経過 ～ 繁殖と群れの同居訓練について～



札幌市円山動物園 こども動物園担当

中居幸世 三浦圭 田中聖二

円山動物園 リニューアルの考え方

札幌市円山動物園基本構想 基本理念 (19年3月策定)

「人と動物と環境の絆をつくる動物園」



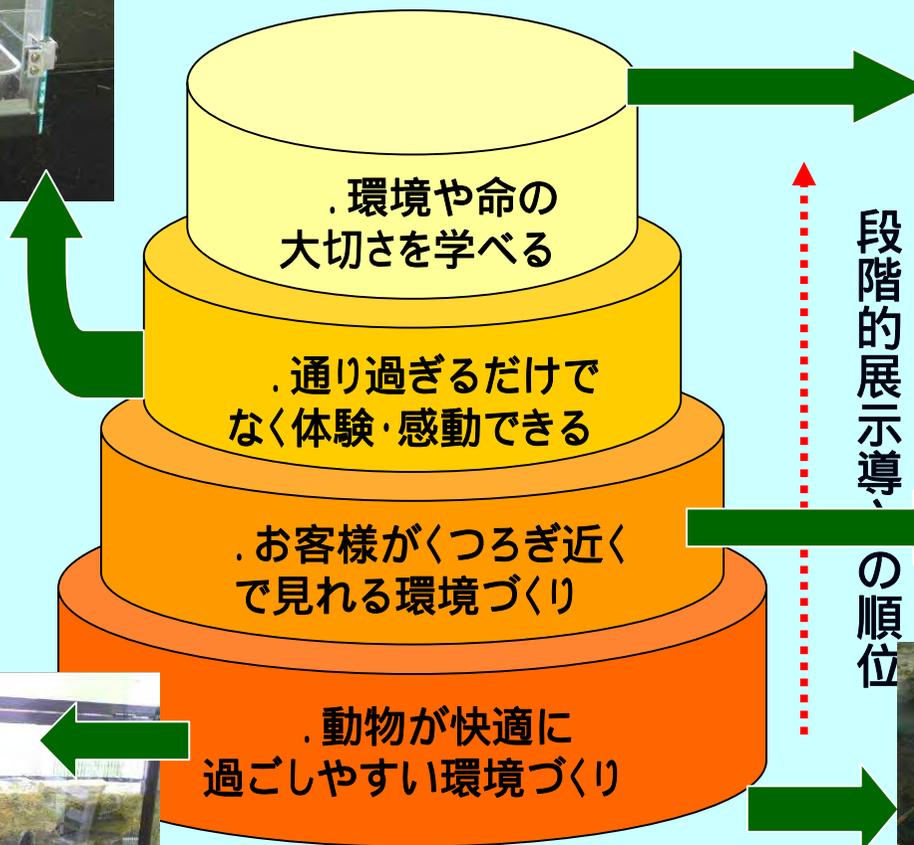
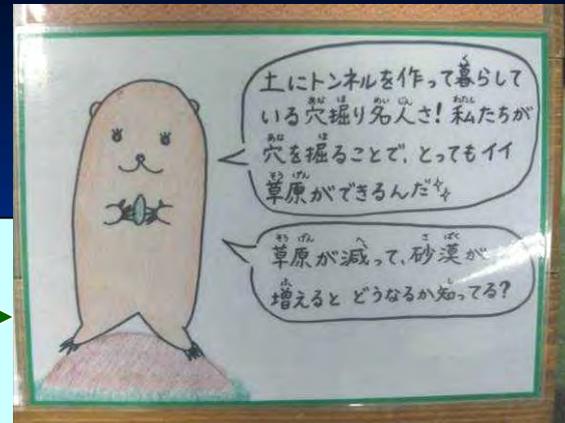
< 解説 >

この図では、経験の蓄積が上位に進むごとに対象となる客層は絞られてくる一方で、滞在時間は長く、関わりも深くなることを想定しています。

優先順位としては、(1)生き生きした動物を見て楽しいと感じる人を増やすことにより入園者を拡大し、(2)よりくつろぎながら、動物に近づいて見ることで滞在時間(味わい、考える時間)を増やし、(3)様々な体験イベントを通じて感動を与え、より深く動物に関わることを通じて、(4)最終的に環境教育につなげていこうという考えです。

動物が快適でなければ、そこで行われる環境教育は本物とはいえませんし、お客様がゆっくりくつろげない動物園では、時間をかけて考えたり感動を味わったりすることもできないのです。

段階的展示導入方式 (円山メソッド)



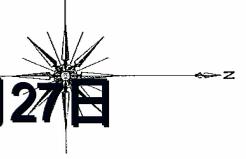
対象となるターゲット層の広さ

全体図

総工費 5760万円

着工:19年11月12日 竣工:20年3月27日

リニューアルオープン:20年4月18日

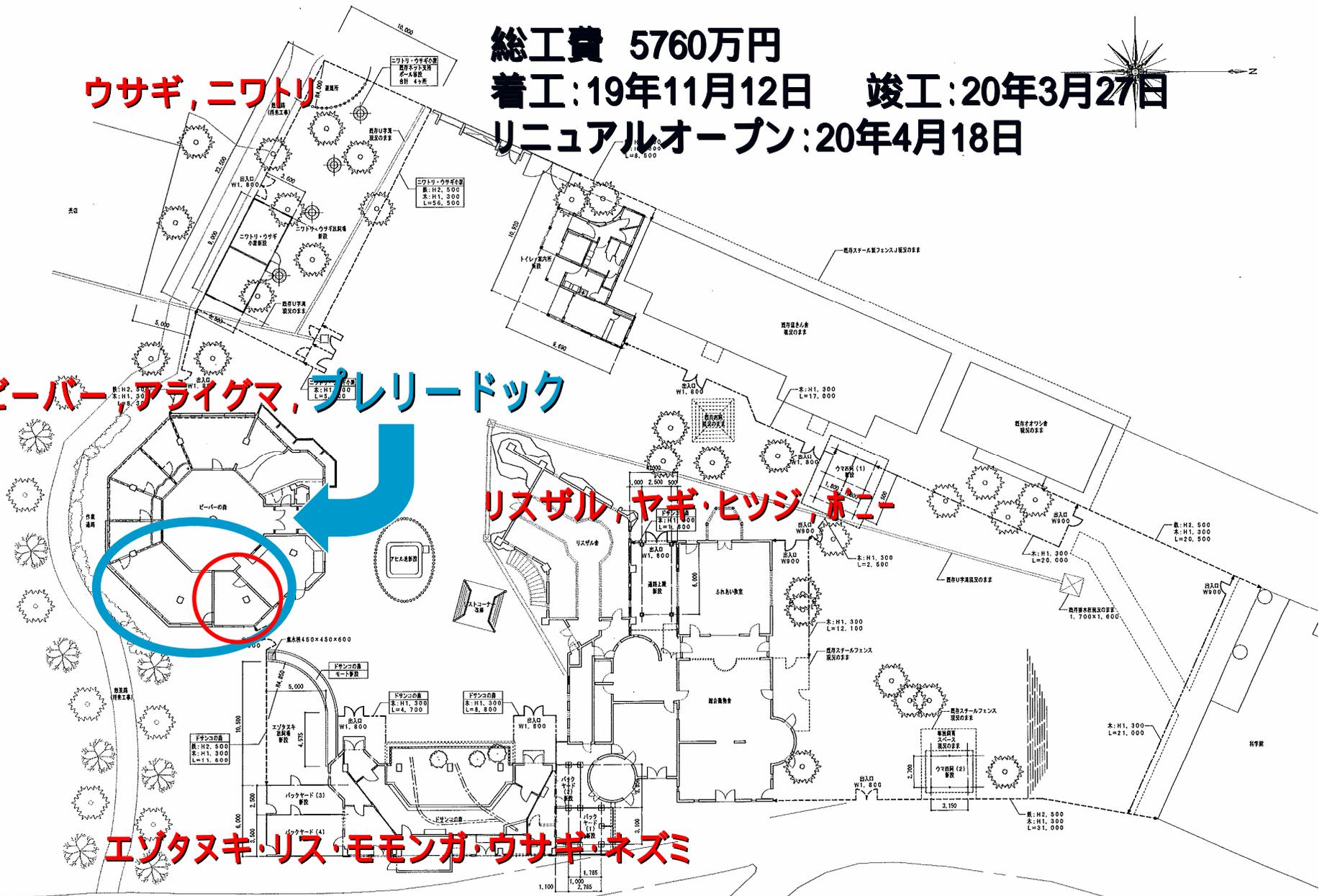


ウサギ, ニワトリ

ビーバー, アライグマ, プレリードック

リスザル, ヤギ, ヒツジ, ホニー

エゾタヌキ, リス, モモンガ, ウサギ, ネズミ



旧プレリードック舎



繁殖 ケージで別飼い
(基本的に非公開)



巣穴が深い
警戒心が強く
観覧できない
すぐに巢内へ隠れる

巣穴展示式獣舎



巣穴地面

巣穴入り口

左側巣穴

中央砂場
エサ場(お立ち台)

右側巣穴